



Team石川



小中一貫CSだより第72号 令和4年3月25日 文責:木村 傑
めざす子ども像(15歳の姿):自己の健康管理・安全管理に努め、文武両道に根気強く取り組む子ども

巣立ち～期待を胸に次のステージへと～

【☆ 中 学 校 ☆】



3月15日(火)石川中学校第75回卒業証書授与式が行われました。あいにくの雨模様となりましたが、お天気さえも卒業という別れを惜んでいるかのようでした。卒業証書が一人一人に手渡されたあと、校長式辞では出会いを大切にしてほしいことやそれをさらに自分の学びへとつなげ成長を果たしてほしいことを伝えました。

その後、祝辞ではPTA会長からこれからの進学先や社会で活躍することの期待、送辞では3年生の先輩方がこれまで自分たちをリードしてきたことへの感謝、答辞ではこれから進む道は違ってもたくさんの方々からいただいた支えを励みとして前進していく決意が伝えられました。そして、卒業生の歌「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」と校歌で感動を味わいながら式を閉じました。また、最後の卒業生が退場する場面では、卒業生が学校や家族に対するそれまでの感謝の思いを呼びかけてくれました。予定にはない卒業生の主体的な演出に、会場全体一層の感動に包まれ、3年間の中学校生活を通じて成長したことが喜ばしく、卒業生一人一人を応援し続けていきたいという思いを強くしました。



また、保護者の受付や写真撮影、駐車場の誘導など、地域ボランティアの方々にも快くお手伝いいただき大変助かりました。ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。今後ともまたよろしくお願いします。

【☆ 小 学 校 ☆】

3月18日(金)石川小学校第141回卒業証書授与式が行われました。スーツや袴に身をまとった子どもたちの姿は華やかで式典を引き立てるとともに、歩き方や礼、卒業証書のもらい方など、すべての所作が堂々としており、どこか自信に満ちていて大人らしささえ感じるほどでした。校長式辞では、ロケット製作に関わる重松勉氏の作れなかったものが作れるようになったということや飛ばせなかったものが飛ばせるようになったということの体験を通じて



「小さな自信をもつこと」が大切であるという言葉が贈られました。そして、夢をもち夢

に向かって一步一步進んでほしいとのエールが送られました。また、‘卒業に寄せて’では、5年生から卒業生のこれまでの頑張りを讃え感謝する言葉が伝えられ、卒業生からはこれから歩いていくことの決意や6年間の思い出を振り返り友情が深まったこと、学校や家族への感謝の思いなどが呼びかけられました。最後に、卒業生が「希望に胸を張り未来に向かって旅立ちます！」と言って覚悟を決め、「旅たちの日に」を合唱し、とても感動的な卒業式となりました。退場するときは、夢や希望をいだき未来に向けて邁進しようとする凜とした表情も見られ、4月からの中学校生活でどんな活躍を見せてくれるか今から楽しみなところです。保護者、地域の皆様には、今後もまたお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



教育自立圏推進プラン評価～成果について～

下記の各項目について4段階で評価してください。

4：十分に達成できた 3：概ね達成できた 2：やや不十分だった 1：不十分だった

(1) 評価項目	評価
① 課題に対する具体的取組は、成果がありましたか (プラン項目 1)	3
② 組織の運営は、計画どおりに行われましたか (プラン項目 2)	4
③ 三つの教育プランは、ねらいを達成することができましたか (プラン項目 3)	3
「知」(授業づくり・集団づくりの共有) について	3
「徳」(ひろさき卍学の実践) について	3
「体」(健康教育の推進) について	3
④ 特色ある活動を計画し、ねらいを達成することができましたか (プラン項目 4)	3
⑤ 各種活動の実施に際し、保護者・地域住民の積極的な参加協力がありましたか	3
総合評価 (上記の平均値)	3.1

(2) 評価の理由を記入してください。

- ① 様々な制約があったものの「めざす児童生徒像」を常に意識し、小・中教職員連携のもと、合同及び小中毎の活動に取り組むことができた。また、「よくわかる授業づくり」に向けて研修部を中心に研修テーマの統一が進められた。
- ② 小・中三役会での意志決定や共通理解、情報共有などが、組織運営全体に効果的で、連携の要となっていた。
- ③ これまでの取組を継続するのは難しい状況にあったが、小学校でも中学校でも工夫し、教職員が一体となって教育活動を推進できた。
「知」について、石川スタンダード(あじさいのある授業づくり)が優れた指標となっており効果が大きい。
「徳」コロナ禍により行事等予定通りに進まなかったこともあるが、工夫しながらひろさき卍学の実践に取り組むことができた。
「体」コロナ禍により合同マラソンや合同マラソン記録会が実施できなかったが、感染予防対策を通じて健康の維持・向上に努めることができた。
- ④ 一貫教育研究協議会や合同研修会は充実しており、小・中教職員の連携を高め学習指導等に効果を上げている。小学生が合唱祭を見学するなど、中学生の学習活動や学習成果に直接触れることは、中学生を見据えた成長過程において好影響であったと感じる。
- ⑤ 中学校では、学習支援ボランティアとして、国語科の習字指導で支援をいただき好評であった。また、入学式・卒業式やPTA合同環境整備等、地域や保護者に協力いただいた。
- ⑤ 小学校が「命を守る！防災教育推進事業」の指定を受けたことが、防災・安全面で地域の自然条件等への理解を深め、地域(自主防災組織)との協力体制構築のよいきっかけとなった。

お知らせ

1月20日(木)に予定していた新校舎建設に係るワークショップは、新型コロナウイルス感染の拡大により学校行事等中止の影響を受け延期としておりました。令和4年度の実施に向けて日程等調整し、後日あらためてお知らせいたします。ご理解くださるようお願いいたします。 ※石川中生徒会作成 ←

